

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 35, No. 7 July 1989

泌尿器科紀要

第35巻 第7号 1989年7月

【原著】

- 経皮的腎切石術における腎実質破壊における実験的研究(英文)……………辻本 幸夫・ほか…1099
 膨張破砕剤による尿路結石破砕の基礎的研究……………河内 明宏…1105
 骨転移を有する腎細胞癌症例の臨床的特徴についての検討
 一肺転移症例との比較検討……………大西 哲郎・ほか…1113
 鈍的腎損傷の画像診断(英文)……………辻 明・ほか…1119
 尿中逸脱酵素・蛋白に関する研究
 第2報:糸球体濾過機能と尿中逸脱酵素・蛋白の関係について……………安本 亮二・ほか…1125
 膀胱腫瘍患者の末梢血リンパ球サブセットについての検討……………松田 久雄・ほか…1129
 表在性膀胱腫瘍に対する注入療法 一再発予防効果について……………池田 龍介・ほか…1135
 超高齢者膀胱癌23例の治療成績……………大和田 文雄・ほか…1141
 勃起の自然回復を期待した陰茎海绵体注射療法(英文)……………今川 章夫・ほか…1145
 尿中分離菌の年次的変遷とその薬剤感受性……………深津 英捷・ほか…1149

【症例】

- 孤立性後腹膜神経線維腫の1例(英文)……………石川 二郎・ほか…1157
 副腎嚢腫の2例:画像診断の意義について……………伊藤 哲之・ほか…1161
 内分泌非活性副腎皮質腺腫の2例……………田中 重人・ほか…1167
 成人 Wilms 腫瘍の一例……………杉村 芳樹・ほか…1173
 血液透析患者に生じた腎盂尿管膀胱腫瘍の1例……………金子 嘉志・ほか…1179
 保存的治療として塞栓術を施行した腎血管筋脂肪腫の1例……………渡辺 俊幸・ほか…1183
 腎盂内異物の2症例……………伊藤 政彦・ほか…1189
 尿管異所開口を伴った交叉性腎変位の1例……………新井 邦彦・ほか…1193
 長大な尿管ポリープの1例……………野々村 仁志・ほか…1197
 ダグラス窩エンドメトリオーシスによる右尿管狭窄の1例……………高村 知諭・ほか…1201
 膀胱原発印環細胞癌の1例……………山田 芳彰・ほか…1207
 化学療法の奏効した膀胱後部腫瘍の1例……………斎藤 清・ほか…1213
 原発性膀胱アミロイドーシスの1例……………布施 春樹・ほか…1217
 クローン病による回腸膀胱瘻の1例……………水永 光博・ほか…1223
 成人発症 Tethered Spinal Cord Syndrome (脊髄系留症候群)
 による神経因性膀胱の2例……………大西 規夫・ほか…1229
 原発性前立腺移行上皮癌の1例……………橋本 博・ほか…1235
 両側精細胞性睪丸腫瘍の1例……………桜井 正樹・ほか…1239
 急性陰囊症として発見された睪丸腫瘍の1例……………原田 吉将・ほか…1243
 原発性両側副睪丸平滑筋腫の1例……………秦 亮輔・ほか…1247

【統計】

- 神戸大学泌尿器科における入院および手術患者統計
 (1985年1月~1987年12月)……………源吉 顕治・ほか…1251
 大阪市立北市民病院泌尿器科における8年間の入院患者
 および手術統計(1980年4月~1988年3月)……………田中 重人・ほか…1255

【治験】

- Norfloxacin 3日間連続投与後の前立腺組織内濃度について……………森田 昌良・辻田 精之…1261
 尿路感染症に対する Cefixime (CFIX) の臨症的検討……………園田 孝夫・ほか…1267

泌尿器科紀要

Advisory Committee

阿曾 佳郎 熊本 悦明 園田 孝夫 田崎 寛 前川 正信
町田 豊平 宮崎 重

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

Associate Editors

大川 順正 折笠 精一 熊沢 淨一 小磯 謙吉 友吉 唯夫
渡辺 決

Editorial Board

生駒 文彦 上田 豊史 碓井 垂 大江 宏 大島 伸一
大島 博幸 大田黒和生 大野 良之 大森 弘之 岡 隆宏
岡島英五郎 岡田謙一郎 岡田 裕作 岡本 重禮 香川 征
垣添 忠生 片山 喬 加藤 哲郎 守殿 貞夫 河合 恒雄
河田 幸道 河邊 香月 川村 寿一 川村 猛 桐山 喬夫
栗田 孝 桑原 正明 郡 健二郎 古武 敏彦 小松 洋輔
小柳 知彦 近藤 厚生 酒徳治三郎 桜井 昴 里見 佳昭
島崎 淳 白井 将文 瀬川 昭夫 田中 啓幹 津川 龍三
土田 正義 東間 紘 中田 瑛浩 名出 頼男 東原 英二
久住 治男 平尾 佳彦 三品 輝男 宮川美栄子 三宅 弘治
宮崎 一興 矢谷 隆一 八竹 直 山中 英寿 山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨症統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例：山田、ほか：前立腺癌・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (5) 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。
例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると…

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田 修: 経皮的腎碎石術(PNL)および経尿道的尿管碎石術(TUL)にみられる発熱について, 泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保亙一: 腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編, 第1版, pp.259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (7) 原稿は, オリジナル1部とコピー2部(図, 写真は3部ともオリジナル)を書留で送付する. 万一にそなえて, コピーを手元に控えておくこと.

(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。
 (9) 論文の訂正: 査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は, 40日以内に, 訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて, 編集部宛送付すること. なお, Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある。
 (10) 校正は著者による責任校正とする. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
 (11) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.

迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円, 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.

- (3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.

4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
 e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.